



博物館 と こども

博物館社会連携事業強化プロジェクト

博物館におけるこども向け教育普及事業を
テーマとしたオンライントーク

2023年5月17日(水)

13:15~16:00

第3回 博物館とつながる:図書館との連携プロジェクトの可能性

オンライン(Zoom)開催/参加費無料/事前申込制(先着順)/定員150名/主催:国立民族学博物館



博物館 と 子ども

博物館は、子どもたちにとって新しい世界や価値観と出会うことができるかけがえのない場です。子どもたちの経験を豊かにし、意味あるものにするために、博物館はどのような環境をデザインすることができるでしょうか？このオンライントークシリーズでは、館種を越えて、博物館における子ども向け事業についての情報共有や意見交換をおこない、よりよい実践や活動を考えます。

* 博物館オンライントークシリーズについて

令和3年度に開催したオンライントークシリーズ「博物館と子ども」第1回「博物館をあじわう：常設展示に関する子ども向け観覧支援ツールの開発について」、第2回「博物館をとどける：子ども向けアウトリーチプログラムについて」に続き、今回は3回目の開催となります。第1、2回の内容をまとめたデジタル・ブックレット『博物館と子ども』はこちらからお読みいただけます。▶▶▶



第3回 2023年5月17日(水)13:15~16:00

「博物館とつながる：図書館との連携プロジェクトの可能性」

子どもを対象とした教育活動には、学校はもとより、博物館や図書館、地域コミュニティなどさまざまな機関や団体によるものがあります。昨今、そのような多様な機関で横のつながりを作り、連携することが重視されるようになってきました。今回のオンライントークではとくに、博物館と図書館の連携プロジェクトに注目します。互いにタイプの異なるリソースや経験、ネットワークを持つ博物館と図書館がつながることで、子どもたちにより幅広く、深みのある体験や学びの機会を提供できるのではないのでしょうか。事例紹介をもとに、連携する意味や、方法、課題などについてディスカッションを行います。

* 開会のあいさつ	吉田憲司 (国立民族学博物館 館長)	* 趣旨説明	岡田恵美 (国立民族学博物館 准教授)	
* 基調講演	図書館における展示の可能性—昔話と児童文学を通じて育む力とは—		服部 比呂美 (國學院大學文学部 准教授)	
事例紹介1	地域の文化拠点 図書館とタグを組む—モノ・ヒト・ネットワークの活用—			
	報告者	神野知恵 (国立民族学博物館 特任助教/人文知コミュニケーション)	コメント	林敏一 (読書の森 松原市民松原図書館 館長)
事例紹介2	人と科学をつなぐ絵本のこと—国立科学博物館での絵本を活用した取組について—			
	報告者	小川達也 (国立科学博物館)	コメント	福井千衣 (国立国会図書館国際子ども図書館)
事例紹介3	四国の山間僻地 木頭図書館からの発信—他機関と連携して学びを深める— 小さな図書館の取り組み—			
	報告者	西田靖人 (木頭図書館 館長)、玄番真紀子 (木頭図書館 司書)	コメント	磯本宏紀 (徳島県立博物館 学芸員)
* 参加者からの質問をもとに登壇者によるディスカッション	ファシリテーター 神野知恵			

申込みについて

事前予約・定員制での開催です。

- 定員：150名（先着順）
- 受付期間：2023年4月20日(木)10:00~5月10日(水)16:00
- 定員になり次第受付終了
- 予約状況はイベント予約サイトでご確認ください。

申込み方法

- イベント予約サイトからのお申込み

イベント予約サイト

<https://entry-reservation-event.minpaku.ac.jp/>



お問い合わせ

国立民族学博物館 企画課 博物館事業係

E-mail: workshopinfo@minpaku.ac.jp

Tel: 06-6878-8210 (10:00~16:00 土日祝除く)

本事業は国立民族学博物館「持続可能な人類共生社会を目指すユニバーサル型メディア展示の構築」の成果の一部です。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology